こども
子供のインターネットバイブル

あんない
案内いたします

いちばんはじめの
イースター

文：Edward Hughes

絵：Janie Forest

改作者：Lyn Doerksen

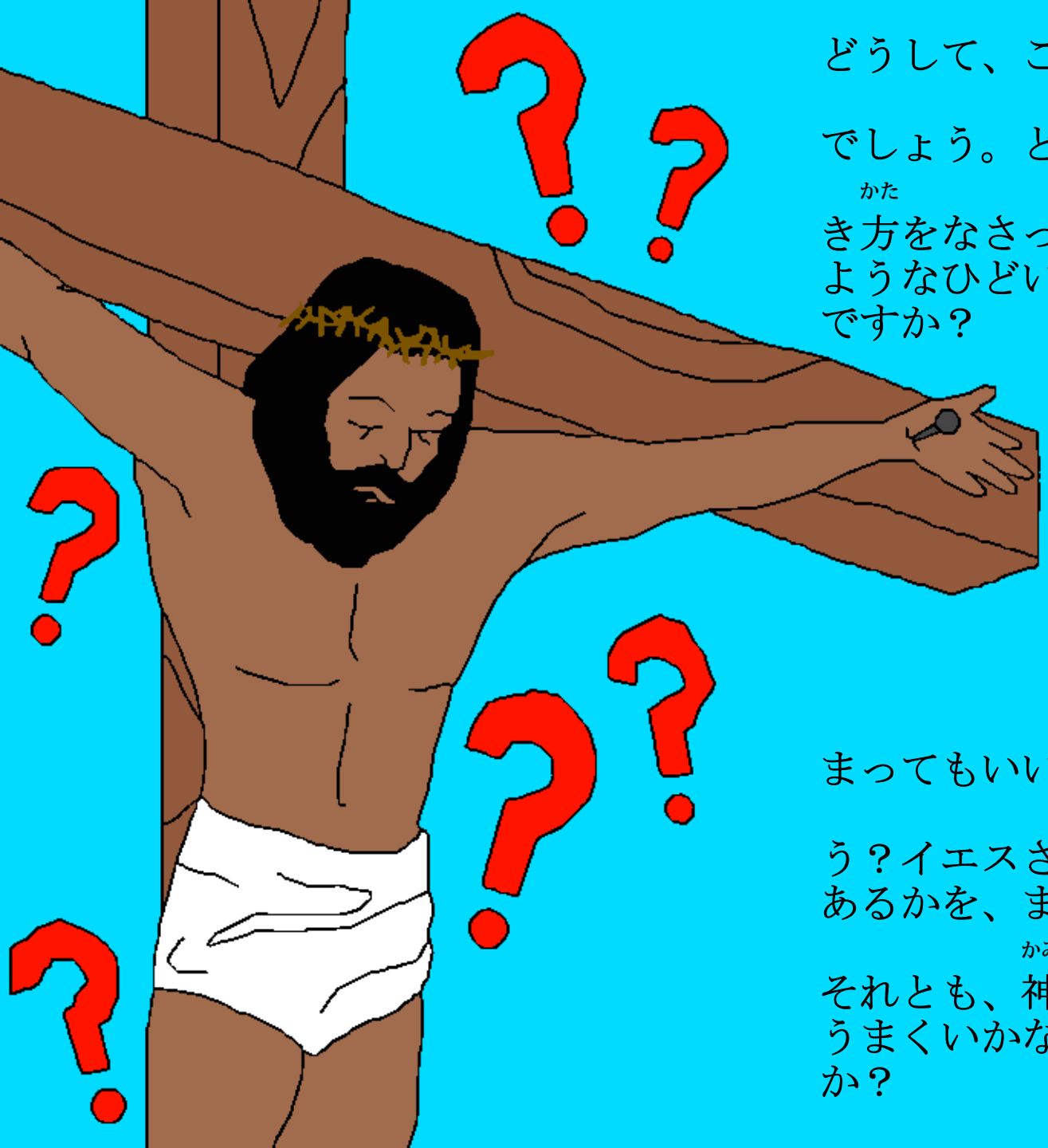
翻訳者：Yuko Kajiki

出版社：Bible for Children
www.M1914.org

©2021 Bible for Children, Inc.

許可：　他人に売らない限り　このお話のコピー、又はプリントは、許可されています。

そのおんなの人は、丘の上で、
じっと立ったまま。たくさんの人があつまって、ザワザワしていますね。かの女の目は、なみだでいっぱい。おそろしいことが、おこっているところを、じっと見あげています。かの女のむすこは、死にかけているのです。そう、おかあさんマリアは、そのちかくで、むすこのイエスさまがクギでうたれ、十字架上にかけられているのを、
じっと立って見ていました。



どうして、こんなことがおこったのでしょう。どうして、すばらしい生き方をなさったイエスさまが、そのようなひどいおわりかたをされるのですか？

どうして、神さまは、じぶんの子イエスさまが、十字架上でクギでうたれて、死んでしまってもいいと、言われたのでしょう？イエスさまは、自分がだれであるかを、まちがわれたのですか？

それとも、神さまのごけいかくが、うまくいかなかったからでしょうか？

いいえ、けっして神さまのごけいかくが、うまくいかなかったのじゃありません。イエスさまが、なにかまちがったことを、されたのでもないのです。

イエスさまは、とても悪いわたしたち人間のために、ころされてしまうだろうって、はじめからわかっていらっしゃいました。イエスさまが、まだ赤ちゃんだったとき、シメオンというおじいさんが、マリアにこう言ったことがありました。「しょうらい、かなしいことがあるよ。」

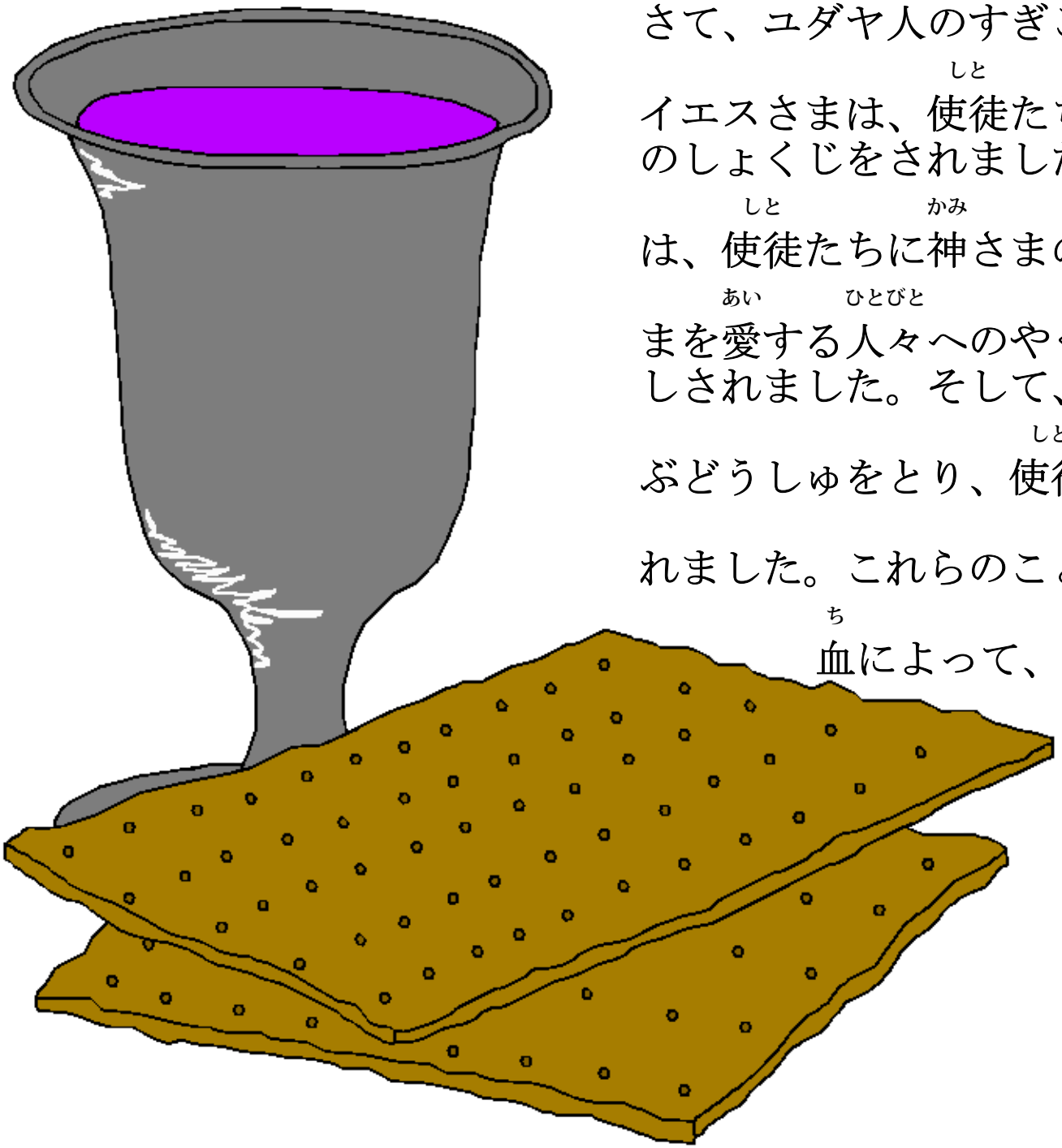
イエスさまが、
ころされる何日(なんにち)かまえのことです。ひとりの女(おんな)の人(ひと)が、イエスさまの足(あし)に、よいかおりのするこう油(ゆ)を、ふりかけました。「えっ、そんなことするなんて、お金(かね)のむだだよ。」使徒(しと)たちは、ブツブツもんくを言(い)いました。そのとき、イエスさまは言(い)われました。「いや、この人(ひと)はわたしに、よいことをしてくれたんだよ。わたしが死(し)んで、おはかに入(はい)るじゅんびを、してくれているのだ。」イエスさまは、

なんてへんなことを言(い)われるのでしょう！

このあと、イエスさまの使徒の一人

ユダは、祭司長のいうとおりにして、
イエスさまをうらぎってしまいます。

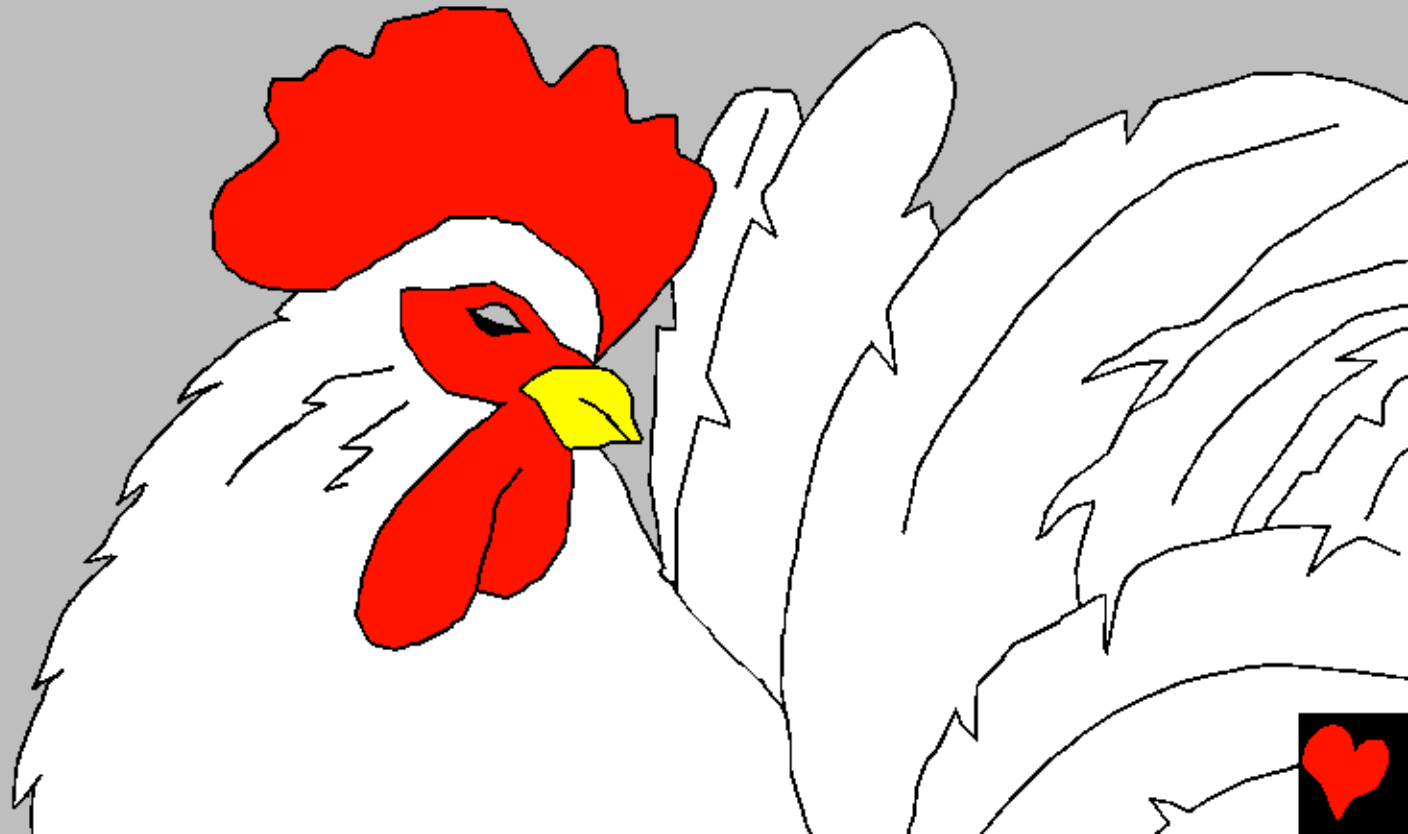
そのかわり、ユダは、祭司長にぎんか３０まいをもらいましたよ。



さて、ユダヤ人のすぎこしまつりのときです。

イエスさまは、使徒たちといっしょに、さいごのしょくじをされました。そこで、イエスさまは、使徒たちに神さまのすばらしいさや、神さまを愛する人々へのやくそくについて、おはなしされました。そして、イエスさまは、パンとぶどうしゅをとり、使徒たちに、わけあたえられました。これらのことは、イエスさまの 体 と血によって、わたしたちの罪がゆるされることを、使徒たちに、おもいだしてもらうためでした。

それから、イエスさまは、使徒たちに伝えられました。自分がうらぎられること、それに、使徒たちはみんな、自分からにげてしまうことをね。そのとき、ペテロは、きっぱりと言いました。「イエスさま、わたしは、けっしてあなたから、はなれません。」そこで、イエスさまは言われましたよ。「ペテロ、あなたは、ニワトリがなくまえ、３回わたしをしらないと言うだろう。」



そのよるおそく、イエスさまは、ゲッセマネのにわへ、おいのりに行かれました。おやおや、イエスさまといっしょに、おいのりに行った使徒たちは、ぐっすりねむってしまったようです。でもイエスさまは、いのりつづけられています。「・・・ああ、わたしの父よ、もし、できることでしたら、どうかこのさかずきを、わたしからすぎさらせてください。けれども、わたしのおもいではなく、みこころのままになさってください。」

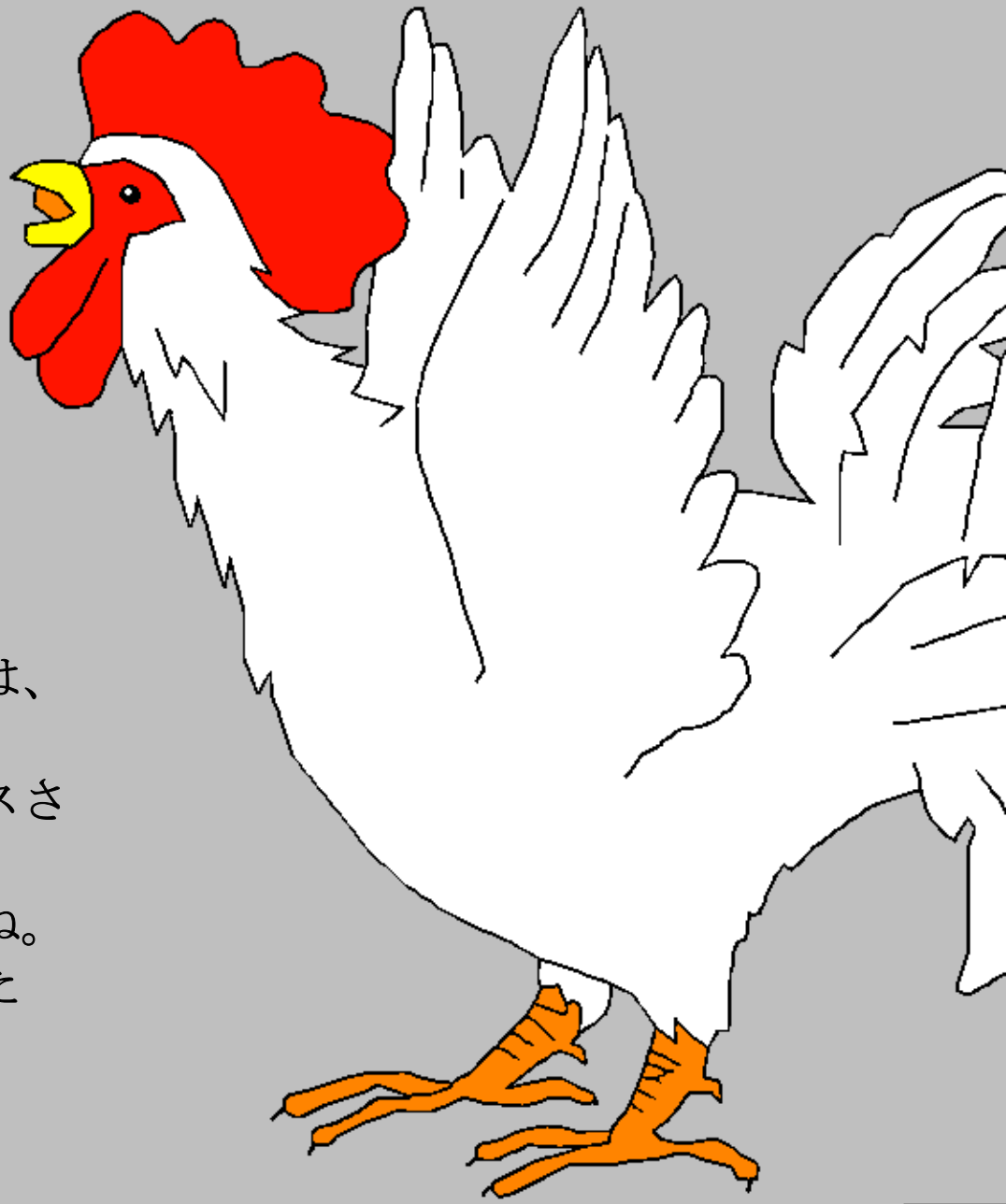
あっ、たくさんの人々(ひとびと)が、むこうからやってきますね。それは、ユダと、かれにひきいられて来(き)た人(ひと)たちでした。イエスさまは、だまって、かれらにされるまま。でも、ペテロはその中(なか)のひとりの耳(みみ)を、切りおとしましたよ。そのとき、イエスさまは、「さわぐな。」と言(い)われ、そっと耳(みみ)に手(て)をおいていやされました。イエスさまは、つかまえられることが、神(かみ)さまのごけいかくだと、わかっていらっしゃいました。

人々は、イエスさまを、とてもえらい祭司のうちへつれて行きました。そこで、ユダヤ人のリーダーたちは言いました。「イエスは、死ぬべきだ。」

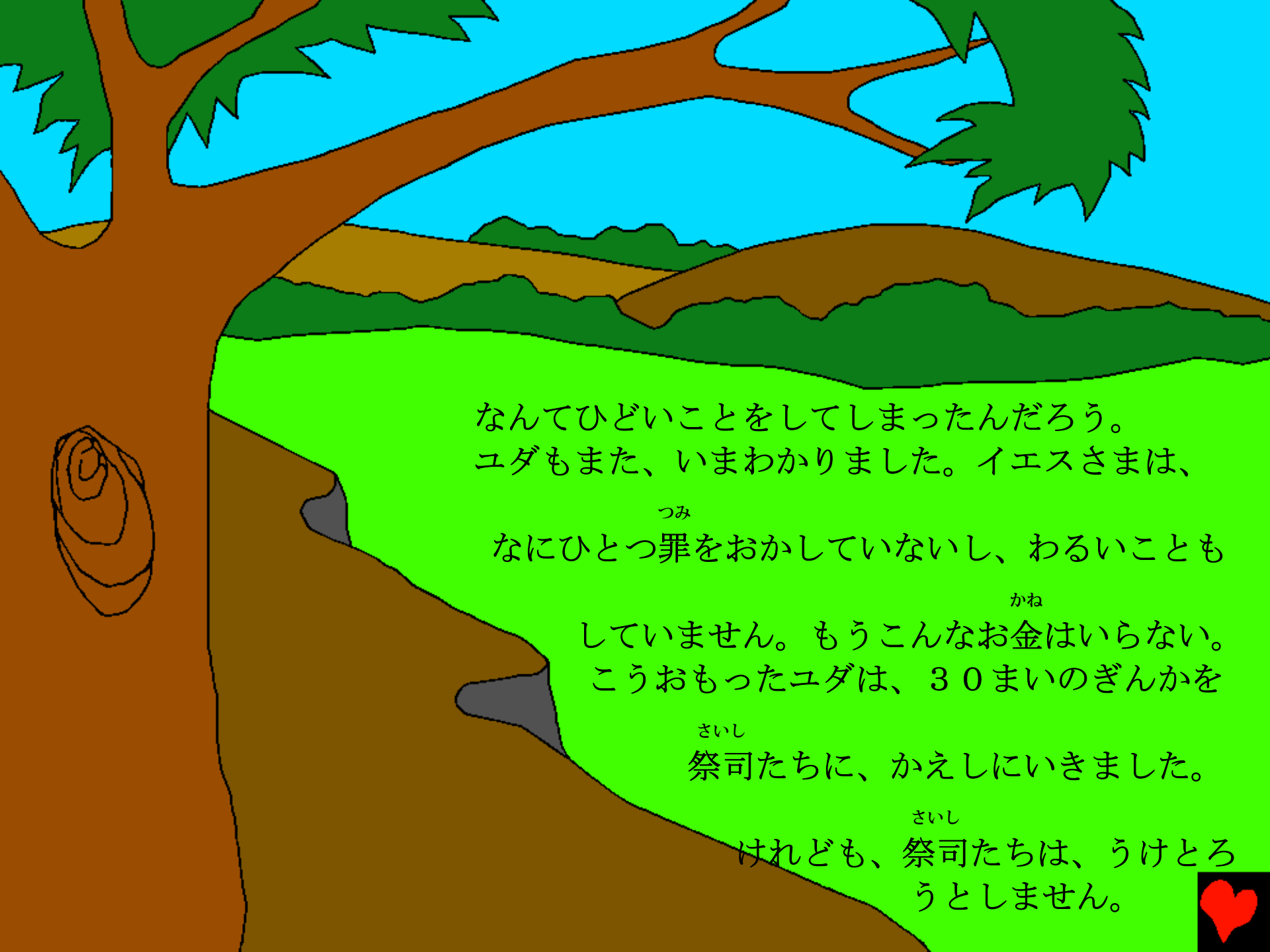
さて、そのときペテロはどこにいたでしょう。じつは、すぐ近くにいたのですよ。祭司の召しつかいのたきぎのそばに立ち、中のようすをじっと見ていました。

人々は、ペテロをじっと見つめて、「あれっ、おまえは、イエスといっしょにいたじゃないか。」と、３回言いました。でも、ペテロは、そのたびに言いました。「イエスなんて、しらないよ。」ちょうど、イエスさまが言われていたように、ペテロは、３回しらないって言いましたね。ペテロは、イエスさまを、ののしるようなことさえ言いましたよ。

コケコッコー



コケコッコー。ちょうどそのとき、
にわとりがなきました。そのこえは、
まるで神(かみ)さまのこえのよう。イエスさ
まの言(い)われたとおりになりましたね。
イエスさまのことばをおもいだした
ペテロは、いつまでもいつまでも、
はげしく泣(な)きつづけました。


なんてひどいことをしてしまったんだろう。
ユダもまた、いまわかりました。イエスさまは、
つみ
なにひとつ罪をおかしていないし、わるいことも
かね
していません。もうこんなお金はいらない。
こうおもったユダは、３０まいのぎんかを
さいし
祭司たちに、かえしにいきました。
さいし
けれども、祭司たちは、うけとろ
うとしません。

そのお金を、バラバラとゆかになげすて
たユダは、そこから出て行きました。ー
そして、自分でくびをくくって、死んで
しまったのです。

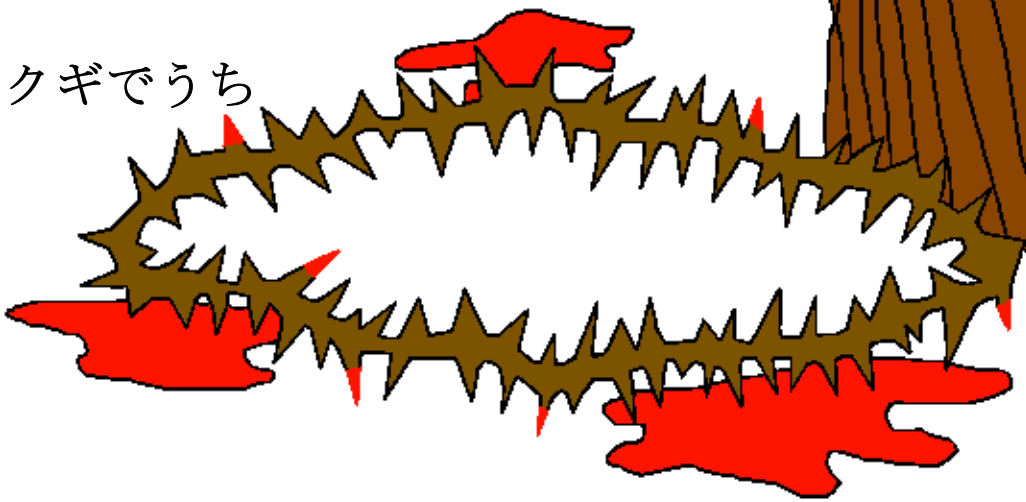
祭司(さいし)たちは、イエスさまを、ピラトのまえへつれていきました。ピラトは、ローマのそうとくで、１ばんえらい人(ひと)ですよ。ピラトは、言(い)いました。

「この男(おとこ)は、なにをしたのだ。なにもわるいことを、していないじゃないか。」

けれども、たくさんの人(ひと)が、大(おお)きいこえでさけびつづけます。

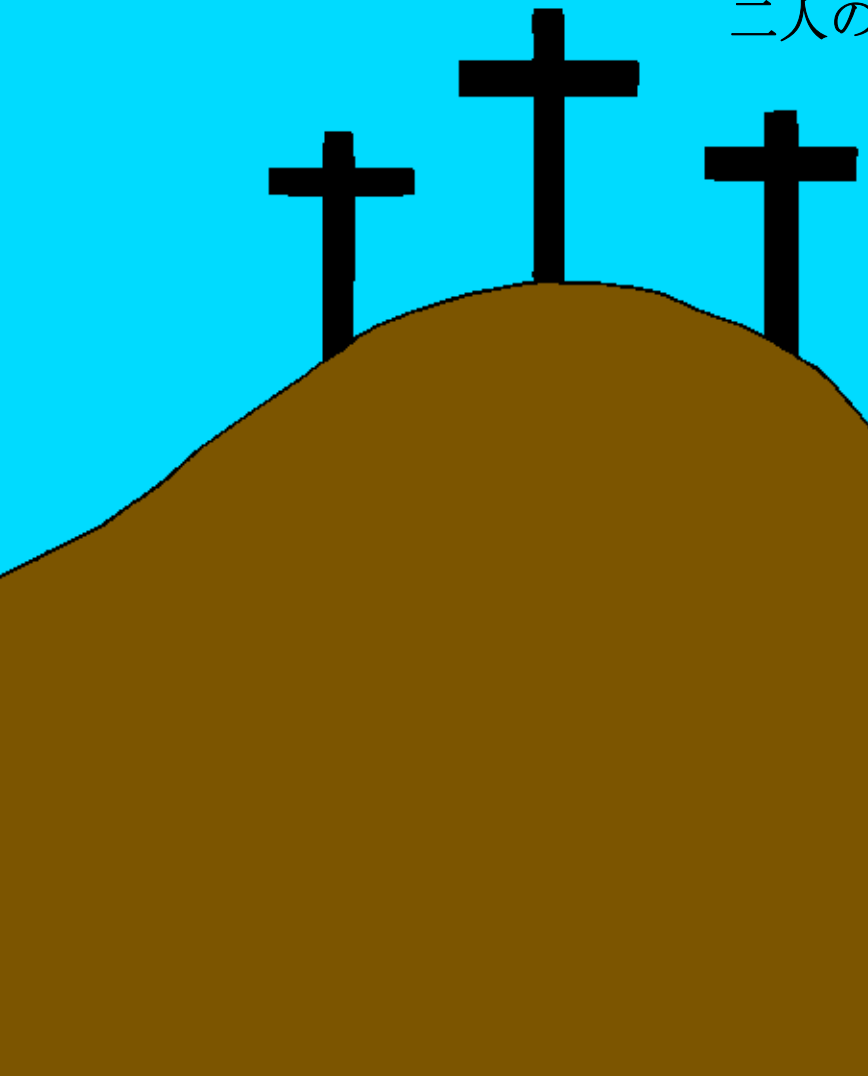
「はりつけにしろ！十字架(じゅうじか)につけるんだ！」

あまりのさけび声に、とうとうピラトは、あきらめてしまいました。しかたなく、イエスさまに十字架のはりつけの刑を、言いわたしたのです。兵士たちは、イエスさまをなぐり、かおにつばをはきかけ、むちでうちました。それに、かれらは、ひどいかんむりを作り、イエスさまのあたまに押しつけました。かんむりのトゲトゲが、イエスさまのあたまに、つきささっています。それから、イエスさまが死んでしまうように、木の十字架に、クギでうちつけたのです。



イエスさまは、ずっとまえから、自分はそのようにして死ぬことが、わかっていらっしゃいました。それにまた、自分が死ぬことで、自分をしんじる罪人が、ゆるされるようになることもね。ちょうどそのとき、わるいことをした二人の罪人も、イエスさまのそばの十字架にかけられました。でも、そのうちの一人は、イエスさまをしんじたのです。それで、その人は、死んで天国へいきましたよ。

それじゃ、もう一人は？イエスさまをしんじなかったのです。それで、天国へは、いきませんでした。



「なにもかもなしとげられた。」何じかんも苦しまれたあと、イエスさまは、こう言われました。
そして、亡くなられたのです。これで、イエスさまは、おしごとをすべて終えられたのですね。そのあと、イエスさまの友だちがやってきて、イエスさまを自分のおはかにうめましたよ。

ローマの兵士たちが、イエスさま
のおはかの入り口をふさぎ、見
はっていますね。いまや、だれも
おはかに入れないし、もちろん、
出ることもできませんよ。

さて、これでこのおはなしは、おしまいかな。もし、そうだったら、かなしいですね。いえいえ、おしまいじゃありません。神(かみ)さまは、なにかすばらしいことを、してくださいました。じつは、イエスさまは死(し)んだままでは、なかったのです。

その週のはじめの日です。あさはやく、イエス
さまの使徒たちが、おはかへいってみると、
あれあれ、まえにおいてあった石があ
りません。ちかくに、ころがってい
ます。そこで使徒たちは、おはか
の中をのぞいてみました。
イエスさまはどこでしょう。
もういらっしゃいま
せんね。

そのイエスさまのおはかのそばで、ひとりの女の人が、しくしく泣きつづけていますよ。そこに、だれかあらわれたようです。だれでしょうか。あっ、イエスさま！イエスさまが、来られたのです。かの女は、大よろこび。みんなに、しらせなければ！いそいで、みんなのところまで走ります。「イエスさまは、生きていらっしゃる！死からよみがえられたよ！」

それからすぐ、イエスさまは、使徒たちのところにいらっしゃいました。そして、みんなにクギでうたれた手を、見せられました。ほんとうでしたね。イエスさまが、よみがえられたことは。「イエスなんて、知らないよ。」と、言ったペテロも、ゆるしてくださいました。みなさん、クリスマスの日、イエスさまは天国からこの地にきてくださいました。そしていま、天国へかえっていかれたのです。イエスさまは使徒たちに、このように言われましたよ。「すべての人に、わたしのことを伝えなさい。」

いちばんはじめの　イースター

神さまの御ことば、聖書に記されているおはなしです。

マタイによる福音書２６章―２８章、

ルカによる福音書２２章―２４章

ヨハネによる福音書１３章―２１章

あなたの御ことばが開かれると、光が与えられます。

詩篇 119:130

おわり

この聖書物語は、私たちをつくってくださったすばらしい神さまについて、
おはなししています。神さまは、あなたが、神さまのことをしってほしいと、
思っていらっしゃるのです。

神さまは、私たちが、よくないことをしてしまったことを、しっていらっしゃいます。それを、神さまは、罪とよばれています。その罪のむくいは、死です。

けれども、神さまは、あなたをとても愛していらっしゃいますので、ただ一人のみ子イエスさまを、この世に送ってくださいました。そしてあなたの罪のために、十字架上で亡くなられたのです。けれどもそれから、イエスさまはよみがえられ、天国のいえへ、もどられたのですね。もし、あなたがイエスさまを信じ、ゆるしてくださいとおねがいするなら、イエスさまは、ゆるしてくださいます！イエスさまは、今、あなたの所へ来て、あなたのこころの中に住んでくださいます。そして、いつまでもイエスさまといっしょに生きることができますよ。

もし、あなたが、これがほんとうだと信じるなら、神さまにこう言ってください。

愛する神さま、私は、あなたが神さまと信じます。あなたは人となり、私たちの罪のために亡くなってくださいました。そして、よみがえって、いま生きて
いらっしゃいます。どうか、私のこころの中に来て、罪をゆるしてください。それで、私は今、あたらしい命をいただけます。そして、いつか、あなたの所へ行き、いつまでもあなたといっしょにいることができるのです。あなたにしたがえますよう、あなたの子として生きることができますよう、たすけてください。アーメン

まいにち、聖書をよみ、神さまとおはなししましょう！ ヨハネによる福音書３：１６